

平成28年3月4日

大山町議会議長 野口俊明様

議席番号 9番 大山町議会議員 野口昌作



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p><b>(一) 水道利用家庭の止水栓位置が判る、止水栓台帳の作成を</b></p> <p>今年の冬は1月下旬大寒波が南下し九州地方さらに観測史上初めてとなる沖縄地方まで雪を降らせ交通事故も多発する異常寒波が日本全土を覆った寒い冬だった。</p> <p>本町の冬は、降雪日数も積雪も少なく、大山スキー場も客が多い年末年始に雪が無い冬だった。反面久しぶりに零下4度を超える大寒波が襲来し生活に欠かせない水道施設を直撃し断水と、水道管破裂の被害をもたらした異常低温の冬であった。</p> <p>近年少なかった水道管の凍結破裂は、保温カバーが処置されていない箇所、室内でも保温効果が悪い部分で多発した。水道管の破裂に気付くのは、気温が上がり水道管の氷が融け水が噴くようになる9時頃からである。大概、水や音で気付くが、このとき気付かなければ大変だ。</p> <p>最近昼間留守家庭や空き家も多く、今年の水道破裂に対応できない家庭もあったようである。隣家が気が付き水を止めようと思っても止水栓が判らず処置できない、役場に聞けばと役場に訊いても判らない、パニック状態の家庭が多くあったと聞いている。今、水道を取り付けた世代が少なくなり配管が判らない、さらに留守宅が多い時代になり管理が難しくなっている。</p> <p>町では今冬の教訓を生かして、生活に最も大切な水道の管理を考え、各家庭の止水栓位置の判る簡単な「止水栓台帳」を整備する必要があると思うが、町長の考えは。</p>	町長
<p><b>(二) 組織・集落・町民・行政が一体となった地域活性化を</b></p> <p>町長は28年度の施政方針の説明で、新しくスタートする大山町未来づくり10年プランの基本理念である「楽しさ自給率の高いまちへ」の具体化に向けて、28年度の重点テーマを①少子化定住対策 ②健康対策 ③産業振興 ④町民参画 そして行財政改革を掲げ進めるとされた。</p>	町長 教育委員長



質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>私はこの中の定住対策と町民参画について町民の要望も踏まえて2件の提案をします、            施策として是非受け入れて目的を達成して頂きたい。</p>	
<p>最初に集落等が実施している伝統行事についてであります。集落の老若男女が力を合わせて            やり遂げ、引き継いできた伝統行事、良い事がある、良い年になる、良い故郷になることを願い、            力を合わせて成功させ、成しえたときの達成感、そして、ここに生きること、郷土に生きること、            誇りを感じ、生きる喜びを感じる。伝統行事郷土文化はそんな力があると思っています。</p>	
<p>本町内には多くの伝統行事がある、収穫や大漁を祝う「祭り」安全安心を願う「祭」先祖を供養            する「盆踊り」、中山地区の盆の「まんどい」など多くの行事が続けられています。</p>	
<p>本町人口は合併時18,700人が今年に入り17,000人を切ったようである。全国の人口も減少し            少子高齢化が進み行事の担い手も少なくなりつつある。しかし集落や団体が行う伝統            行事の継続はまさしく「継続は力なり」で集落や団体を賑やかに、力強く、仲間意識・連帯感を            強くすることに間違いない。</p>	町 長 教育委員長
<p>集落や団体が行う祭り行事を郷土遺産として申請を受け審査し登録して継続を助成する仕            組みをつくり、人口減少を食い止め郷土の維持発展を願う政策として実施する考えはないか。</p>	
<p>二点目としてこの頃学校の同窓・同期生会に助成をする町が多くなっている、現在南部町と            岩美町が行っている。定住人口増にUターンや孫ターンに期待し町外に出ている郷土出身者            に地元にもっと親しみを持ってもらう施策として、小中学校同窓・同期生会の開催を帰郷の            契機と捉え、町内での開催に補助を行い、定住や経済効果を期待してはどうか</p>	
<p>また 中山地区では懐かしい同級生と出会う同期生会を友交館で開催する場合もある。            このときセミナーハウス使用料が町外在住者は町内者の倍額に定めてあり宿泊費の支払            いで同級生の一体感をなくしてしまう感がある。同期生会の友好館等の利用差額を無くする            必要があると考える町長の考えは。</p>	